

Lion

IWATE



2013.6

JUNE

332-B地区 アクティビティスローガン

あした
堅い絆で 創ろう未来



感謝の ご挨拶

ライオンズクラブ国際協会332-B地区

地区ガバナー L.千葉 龍二郎



早朝の散歩コースである近くの公園には花々が次から次と咲き誇り、今は「紫陽花」が似合う季節となりました。深緑に心を癒してもらい、気持ちの良い散歩には少し余裕すら覚えました。5月12日第59回332-B地区年次大会も大成功裡に終了し、最終キャビネット会議では全審議を承認され次期キャビネットに引き継ぐ事が出来ました。私に寄せられました友情と会員皆様の水沢キャビネットへのご支援に感謝申し上げます。

私にとってガバナー就任前1年間の待つ身の長い次期と就任しての1年間は、台風の様にあっという間に過ぎ去った感があります。

昨年6月韓国釜山で開催した第95回国際大会の席上で332-B地区ガバナーに承認されスタートを切りました。ウェイン・A・マデン国際会長テーマ「奉仕の世界」に100年の歴史を感じ、ライオンズ精神が証明されたと思いました。207ヶ国メンバー135万人の仲間が常に「We Serve」の心でアクティビティを展開している事を実感してまいりました。帰国後第一回キャビネット会議から始まりゾーン単位での公式訪問、クラ

ブCN記念式典、被災地支援は特にも「買い物バスツアー」や復興支援対策本部会議(日本連絡事務所)等々の運営について、「私の思い」を名誉顧問、ZC、各委員長、幹事、副幹事、会計のキャビネット役員と協議の上、進めて参りました。

又、改革すべき事項にも取り組みスリム化を計った所です。公式訪問の際には地元市長様と面談する事も出来ました。ライオンズクラブをアピールすると共に地域で活躍するLCを重ねて紹介出来た事は奉仕の原点に戻った感じがします。

私が掲げたアクティビティスローガン、ガバナーテーマに加え四つの重点目標は今期だけの目標では無く、今後各々のクラブ運営に大きな目標として継続していただきたいと思ひます。「初心を忘れず」の如く、次世代への行動指針として考慮していただきたいと思ひます。

3.11東日本大震災から早2年4ヶ月が過ぎようとしています。復旧・復興には国・県・市町村の「官・民」が一体となり取り組んでいます。「大惨事」故に莫大な費用と数年の時間はかかるにしても、

我々は「街」「仲間」「希望」を忘れる事の無い様、支援を続ける事を約束いたします。

さて、ライオンズクラブの永遠の課題が三点あります。『会員増強』『例会運営』『アクティビティのマンネリ』これらの課題に対応すべく「G・L・T」「G・M・T」の専門委員会が出来ています。つまりリーダーの育成であります。チームは良きリーダーのもとで成長します。又、良きリーダーはチームが作り上げます。そのチームにあった方向をしっかりと受け止め次期リーダーに引き継ぐのです。継続は力であり進歩であります。若手会員や女性会員の増強と共にクラブの発展があります。

さて、次期キャビネットは4R1Z東山LC所属のL.佐々木賢治エレクトが先頭に立ち、332-B地区を牽引致します。ライオンズクラブの使命は『We Serve』『奉仕の世界』であります。100年にも亘り築かれてきたライオンズ精神は崩れるものではありません。時代の変化に負ける事なく、一步前進の気合いで進んで行くものと思ひます。次期キャビネットの御健闘を御祈念申し上げ、御礼の御挨拶と致します。

福祉巡回車

ライオンズ「絆号」納車贈呈しました!

AM11:00頃 (大船渡市社会福祉協議会)



▲玄関前で記念写真



332-B地区、第59回年次大会記念メインアクティビティライオンズ「絆号」がこのほど発注していた自動車ディーラーから正式に納車されました。

そこで千葉ガバナーを先頭に小野寺キャビネット幹事、依田会計が各地福祉協議会の納車贈呈式に出席しました。各3ヶ所の福祉協議会には、ZC他地元クラブ役員の皆様も立ち会って戴きました。特にお昼時に到着した山田町では地元クラブから美味し

い昼食をいただき、町役場に表敬訪問しました。あいにく町長不在で副町長さんにご挨拶しましたが、この時対応して頂いた副町長さんが奥州市出身と伺い、人のご縁を感じた次第でした。

大船渡から山田、そして宮古と被災地沿岸部を北上して「絆号」をお届けしたわけですが、どこでも熱烈的な歓迎を受け、この「絆号」を被災した仮設住宅に住むお年寄りの皆さんの巡回訪問に役立ててほしいという千葉ガバナーの願いに、職員の方々が真剣に聞き入っていました。

PM1:30頃 (山田町社会福祉協議会)



▲女性職員さんの熱烈歓迎を受ける



▲うちわには表裏あります

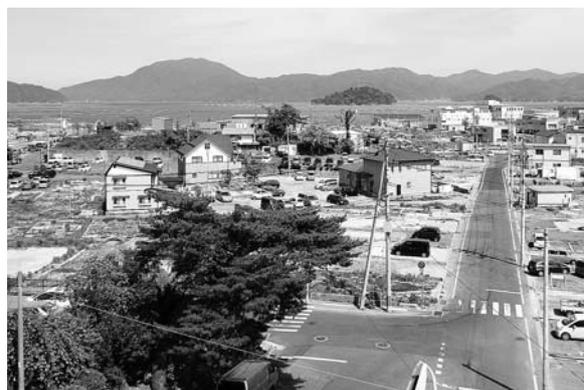


▲山田町表敬訪問

PM2:30頃 (宮古市社会福祉協議会)



▲歓迎の横断幕が素敵です



▲被災地の海はいつもの美しい海ですが…

『幹事を終えて今』

キャビネット幹事

L.小野寺宣文



忌まわしいあの日から2年と3ヶ月。6月10日の三陸の海は、真新しい養殖用の筏を浮かべ、初夏の陽光を映しキラキラと輝いていた。朝9時前に水沢を出て、大船渡から山田、そして宮古。年次大会記念事業の「ライオンズ絆号」3台を届けて回る一行4人の「45号線北上ツアー」は、400kmの長工程を終え、夕刻無事帰水した。

三ヶ所の社会福祉協議会では、職員の皆さん総出の歓迎を戴き、Lのマークをボディに付けた小さな車を挟んで、贈る側も受ける側

も笑顔笑顔の心地良い一日だった。そしてその日で…長いようであっという間の一年が終わった。

思えば和賀LCを訪問したのは、2月くらいだっただろうか。事務所の周囲は雪だった。手探りの準備から、6月半ばの次期三役・事務局長セミナー、末の釜山国際大会で始動し、1R1Zからスタートした公式訪問。11クラブの周年。11月、福岡での東洋・東南アジア

フォーラム。地区ナイトには大勢のご参加を戴いた。4回のキャビネット会議。丁寧に検討をした復興支援本部会議は7回。折々数度のZC会議、名誉顧問会議。5月12日、快晴の第59回年次大会。キャビネット幹事という重責を終える今、地区内会員の皆さんはもとより、キャビネット並びに現地事務局、協力と励ましを戴いた名誉顧問・ZC・キャビネット役員諸兄に心寄りの感謝を申し上げたい。お陰様でした。有難うございました。



復興のシンボル “奇跡の一本松”

キャビネット会計

L.依田修一



キャビネット三役として、公式訪問、周年行事等で県内各地を訪問し、東日本大震災被災地の現状に、まだまだ復興半ばと感じた一年でした。復興が進まない現状の中で多くのボランティアやLCの会員が、頑張っていることに、優れた国民性を感じ、LCの貢献に

誇りを感じた一年でした。

しかしながら、今年度は義援金の大幅減により、支援金について慎重審議が必要でもありました。今後も、継続したLC関係の支援が必要でもあります。

次期は、緊急援助積立金の一部を復興支援金として使用に承認を得ておりますが、今後の義援金の募金活動も必要であり、限りある財源により、支援の中身が問われることとなります。復興のシンボル奇跡の一本松につい

て、一億五千万円の募金による保存運動は「さしあたっての復興支援優先では」との議論がありました。広島原爆ドームは、当初取り壊される可能性がありましたが、16歳で亡くなった1人の女子高生が日記で、「後世に訴えかけてくれるだろうか」と書き残したことにより保存運動が始まりました。

“奇跡の一本松”も、復興のシンボルであり、東日本大震災被害を後世に遺すシンボルとしての意味があると考えております。

キャビネット会計といたしましては、現在、年次大会会計業務が一段落したところです。今後は事務局と打ち合わせをしながら決算業務を進めてまいります。当面落ち着いた日々が続くそうです。この一年、ご協力をいただきました会員の皆様に感謝申し上げます。御礼といたします。



ZC退任のご挨拶

1R1Zゾーン・チェアパーソン

L.篠木 清 (滝沢LC)



1R1Z篠木清です。ZCを委嘱されあつという間の1年間でした。結論から言うと、何も役に立たない私でしたが、楽しい1年でした。それは今期の1R1Zの7人の会長方のお陰です。毎月の会長会に参加でき、各クラブの現状を知り交

流できたことに感謝、感謝です。

最初はキャビネット事務局とクラブ事務局がしっかり取り組んでいるし、ZCは必要ないのでは？と思えたものです。ZCは責任者としてゾーンの運営に当たるとありますが、実態は組織図通

りだろうか？ライオンズは多くのことを変えなければならぬ時期が来ていると思いますが？変えようとする多くの意見や批判が出てきます。それでも勇気を持って変えないと、大きな結果が待っているような気がしてなりません。今後の変化に期待して…全メンバーに感謝して終わります。

有難う御座いました。

1R2Zゾーン・チェアパーソン

L.金澤武志 (岩手LC)



昨年7月ゾーン内ローテーションとはいえ図らずもZCに就任、千葉ガバナーのもとZCとしての責務。特に4つの重点目標達成の為ゾーン内各クラブ会長の協力を得ながら一途邁進してまいりました。

その目的は概ね達成したものとっております。その間ゾーン内各クラブの皆様にはこの1年間のご協力、ご支援に対し心から感

謝を申し上げます。

しかしながら1年間の33の行事の中で唯一残念に思いますのは、葛巻LCの解散を阻止できなかった事であります。昨年12月から約半年間存続の為の方策、原因に対する対策等鍋倉会長始め会員の皆様と数回会合を重ね、胸襟を開いて話し合ってきましたがその努力も空しく、最悪の事態となり、断腸の思いで一杯です。

葛巻LCは6月30日スポ小サッカー大会を最後に332B地区55クラブの中よりその名前は消えますが、私もZCとしてクラブ最後の事業に参加し、しっかりとその姿を脳裏に刻み、事後ライオンズクラブの精神を持続したいと願う人たちを岩手LCに入会させ、その人達を基礎に、クラブ支部、延いてはクラブ復活への一助としたいと念願します。そして二度と忘れられないこの1年間、ゾーン内各クラブ会員のご指導とご協力に対し心から感謝を申し上げます。

2R2Zゾーン・チェアパーソン

L.渡邊和美 (江釣子LC)



L・千葉ガバナーを中心とした332B地区の活動も、あと数日となりました。

昨年7月の第1回キャビネット会議以来、ゾーン内4クラブへ今年度のキャビネットの方針を正確に伝えようと忙しく廻りました。そして8月28日には、第1回ゾーン内のガバナー詰問委員会。

8月29日の、ガバナー公式訪問の前に北上市長へ表敬訪問、その後ゾーン内4クラブのガバナーと3役との会議など、とにかく7月・8月は目まぐるしい程でしたし、その間に8月9日に北上国見ライオンズと、江釣子ライオンズによる第1回目の山田地区への買い物バスツアーへ参加など、ガバナーの

重点目標である被災地の復興支援のスタートの月ともなりました。

復興支援はまだまだ継続していかなければと思いますが、被災地の声を的確に捉え、今後も支援を続けたいと思います。

最後になりますが、2年間ご支援いただきました2R2Zの名誉顧問様そして4クラブの会長をはじめクラブ員各位の皆様にご挨拶を申し上げます。

ZC退任のご挨拶

3R1Zゾーン・チェアパーソン L.新居田弘文 (前沢LC)



早いものであつという間の1年が過ぎようとしています。昨年、ZC予定者会議に始まり4回のキャビネット会議、ガバナーの公式訪問や諮問会議の開催等、初めての経験でありましたがキャビネット事務局やゾーン内クラブの力添えがあつて実現できたものであり、

改めて関係者に御礼を申し上げます。ゾーン内行事では、被災地支援買い物ツアーや家族交流パークゴルフ大会及び懇親会にも大勢の会員の参加をいただき充実した内容とさせていただきます。この単位クラブを越えた活動・協力が原動力となり、第59回年次大会も成

功の礎となったものと考えます。

さて、ZC就任以来、各クラブの周年記念大会にお招きいただきましたが、それぞれクラブには歴史と個性があつて感動する大会や会の運営を垣間見ることが出来ましたし、充実した1年だったと思っています。加えて各ZCとの交流の機会にも恵まれました。改めて各ZCにお礼を申し上げますとともにご健勝と更なるご活躍を祈念申し上げます。

3R2Zゾーン・チェアパーソン L.阿部自雄 (花泉LC)



2012年7月1日千葉ガバナーのもとZCとして手探りのスタート、早速ゾーン内幹事会を開催、今年度の方針を協議しました。定時の諸行事、諮問委員会、各クラブの例会訪問、ガバナー公式訪問等々順を追って進め、重点目標の一つ震災復興支援についての協議に移り、ZC会議に於いてバスによる被災

地買い物ツアーが提案された事を踏まえ、11月4日陸前高田市「復興支援まつり」に31名の参加をいただき開催されました。

又、名誉顧問高橋幸喜L・YCE委員(クエスト委員長)菅原康次Lに特段の御力をいただき12月26日、27日の二日間、ライオンズクエスト平泉ワークショップが過去最も

多い35名の参加者を迎え充実した中身に参加者は満足感を持った様子でした。

さらに2月17日宮古市に於いての「宮古カニ祭り」に38名の参加をいただき楽しくいっぱい買い物して帰りました。

不安なスタートでしたが、各クラブ会員の皆様の御協力、御支援をいただきZCの重責を努めることができました。心より感謝を申し上げます。

ありがとうございました。

4R1Zゾーン・チェアパーソン L.千葉博 (川崎岩手LC)



早いもので1年が経過しようとしています。振り返ってみますと東日本大震災復興支援活動を柱に、ゾーンの親睦を念頭におき事業を遂行してきました。

震災復興支援では、8月に震災復興を願い、「かわさき花火」物故会員供養花火の提供とゾーン内クラブ員と花火観覧交流親睦会。10月に「被災地慰問・大船渡」屋台

村」を慰問・バス2台に分乗し43名参加。

クラブへの取り組みは、7・12月に被災地「はがき励ましメッセージイン」大船渡・広田地区(大東岩手)。10月に川崎市多摩地区民祭での募金活動(川崎岩手)。11・8・6月に寄席・ミニ炊き出し(大東岩手)。4月に仮設住宅ラーメン交流(千厩)。5月にライオンズ旗中学

校ソフトボール大会に被災地中学校招待(東山)・仮設住宅交流事業(藤沢岩手・室根)。

青少年健全育成では、薬物乱用防止講演会の実施。7月に川崎岩手LC、10月に千厩LC、11月に東山LC、12月に藤沢岩手LC。

会員増強では、各クラブとも積極的に会員増強をいただき、ニューメンバースクールの実施。11月に4名、3月に4名と2回実施できました。

地域間交流、クラブ間交流は9月にゾーン親睦ゴルフ大会31名

ZC退任のご挨拶

参加、震災復興支援、大船渡LC例会会場訪問(震災・復興状況説明会)等多くの方々のご支援、ご協力により実施できました。あらためて

御礼申し上げます。特に2ゾーンの毛利清平ZCには大変お世話になり実施できたことに厚くお礼申し上げます。これからの活動を振

り返り、「勇気と仲間を信じる」ことを経験した事が私の宝として今後も協力して参ります。任期中のご支援ありがとうございました。

4R2Zゾーン・チェアパーソン

L.毛利清平 (大船渡LC)



この一年間4R2Z.ZCに就任し、長くも有り短くもあった様に感じます。

千葉龍二郎ガバナーの御指導のもと、ZC会議、災害復興支援会議等、欠かさず出席し苦言を申し上げたこと、心が痛むところもございます。ZC同志のネットワークも出来、又、全国の数多くのクラブよりご支援ご指導いただき、キャビネットより頂戴した300枚

の名刺も足りない程の人々と交流・懇談し、「絆」を深めたこと被災地のZCなればこそと思っており、今後活用したいと存じます。

被災地への買い物ツアー、県内外のブラザークラブの皆様、本当に有り難く感謝申し上げます。被災地の復興は、物流の量によって復興の進捗が左右されます。今後とも被災地に足を向けていただ

けることを望むところでございます。被災地の青少年育成には様々な支障が有ります。校庭には仮設住宅があり、運動不足、心身のストレス等のケアも必要となります。また一人暮らしの高齢者の扱いも問題でござます。今後ともご指導下さいます様お願い申し上げます。

キャビネット年次大会記念事業として、高齢者見回り隊(大船渡社会福祉協議会)に軽自動車を頂きありがとうございました。

一年間のご指導ありがとうございます。ウィサーブ。

5R1Zゾーン・チェアパーソン

L.佐々木菊三郎 (田野畑LC)



ZCとしてこの1年間皆さんに助けられながらどうにか終わろうとしています。

一番の思い出は、復興支援の取り組みです。物や、金はもういらない、物を頂いても置く所がない、金

はあっても健康は買えない等々。被災した方々の気持ちを考えると胸が詰まる思いがします。

そして高齢者の方々は外に出たくない、外に出ないことにより健康を害してしまう。

例えば、あるクラブでは、高齢者が外に出るようにと花・野菜のプランターを寄贈し高齢者に管理して頂き、少しでも動かしてもらおう事の報告を頂いたとき、もしかしたら、これが本当の復興支援かもしれない、と思いました。

最後に一言、田野畑から水沢は遠かった。

有り難う御座います。

5R2Zゾーン・チェアパーソン

L.大萱生修一 (大槌LC)



平成24年7月より、ZCを、陸中山田ライオンズクラブのL.鈴木から受け継ぎました。まだまだ明日が見えない、山田、大槌、釜石、問題

が多すぎです。

千葉龍二郎ガバナーのもと、地区キャビネットの皆様におかれては、たくさんの支援の方法を提案

していただき、多くのライオンズメンバーが被災地にきていただきました。震災を忘れていないからこそその行動です。住民はそれだけで勇気をもらえます。まだまだ苦しい現状ですが、お互い助けあっていきたいと思ひます。一年間、ありがとうございました。

ライオンズクラブ332複合地区第59回年次大会

報告：水沢 LC 代議員兼クラブ旗搬送部隊

5月25日(土)26日(日)の両日、仙台国際ホテル並びに仙台国際センターを会場に複合地区年次大会が盛大に開催されました。

当日は天候に恵まれ、東北地区各県のLCの代議員及び役員のライオンが参集いたしました。水沢から千葉ガバナーを輩出していることから、水沢LCのクラブ旗を大会式典に持参することになりました。何でも二日目の全体会までに持参すれば良いとの情報を入手していた我がクラブ搬送部隊は、結果的に実行委員会の担当者を随分とやきもきさせて、ご迷惑をおかけすることになりました。やはり前日から搬入すべきでした。反省、反省。

さて、初日は午後より代議員会・前夜祭が国際ホテルで開催され、二日目も同様に代議員会全体、分科会を挟んでまた総会の再開と目



▲大会式典の様子

まぐるしく会議が形通り進み、相当疲れた頃合いになって正式の大会式典がやっと開催されました。こういう状況ですので、大会実行委員会の進行もドタバタした状態で、正味一日半で全てを片付けてしまいたいという形式ばった運営も、如何なものかと思ったのは私だけでしょうか？

しかしその中でも、大会式典のご来賓の仙台市の奥山恵美子市長さんや330複合地区協議会議長L.河合悦子さんのとても歯切れの良い、そして理知的なお話ぶりに、我が332-B地区もそのような女性がそろそろ活躍できるような下地が出来れば良いと感じました。(一部の伝統にとってもこだわるLCは反対者がいるとのことですが。)

ともあれ、式典は無事に終了し、学生時代以来、席に静かに座ったことのない代議員の皆様はその分懇親会で大いに盛り上がっておりました。特にステージでは各地区ガバナー他エレクトの皆様方がスコップ三味線を余興にご披露した頃には会場が最高潮に達し、ここは仙台か、津軽か？と場所が判らない状態になりました。ともあれこうして式典以上に盛り上がった懇親会は、次回「福島の地」で再会することを誓って散会となりました。



▲佐々木ガバナーエレクトの勇姿



▲スコップ三味線の余興

年間特集
最終回

復興への
槌
の
音



▲沖縄浦添LC・大成ホーム・同安全協力会による植樹



▲震災の犠牲となったクラブ関係者の鎮魂の碑の前で



▲セルジオ越後さんの指導による少年サッカー教室

「陸前高田LC 会長」
L.菅野 征一郎

今年度の陸前高田LCは会長テーマを「希望」、そして重点目標に会員の復興を掲げ日々活動して参りました。

あの東日本大震災では会員7名、家族会員5名もの多くの仲間を失い、半数以上の会員が自宅や会社を流失しました。被災直後のクラブの存続が危ぶまれる状況の中、全国のLCからたくさんの励ましのメッセージや支援物資等の温かいお心遣いをいただき、私たちは被災者への支援活動を続けてまいりました。

その後もご支援して下さるクラブは絶えることがなく、今年度になっても30件以上ものご支援をいただいております。姉妹クラブである大和高田LC様には前年度に続き、今年度も多額の義援金をいただきました。

また、キャビネットからは震災

で犠牲になった県内の会員のために「鎮魂の碑」を高田に設置していただき、市の一本松募金にも多額の寄付をいただきました。また遠いところでは沖縄県浦添LC・大成ホーム様が2度も来市し、義援金と植樹活動を行っております。

被災者への支援活動としては仮設住宅への支援物資の配布や寄席、餅つき大会、人形劇、カラオケ大会等を支援クラブと共に活動して参りました。直近では浦和東LC様がセルジオ越後サッカー教室を開催し、被災した子供たちとスポーツを通じて交流を深めました。

また、今年度は例年行っている「少年の主張大会」を変更し、初の試みとして、児童らが希望の明日を語る「未来に向けた意見発表会」を開催しました。「震災によって生まれた課題」「自分達が思い描く未来のまち」等のテーマを設

け6年生を中心に意見発表会を行いました。また、今年度は3名の新会員を迎え、徐々に会員の増強も図っております。

震災後3年目を迎えましたが、市街地はいまだに更地の状態で復興に程遠いようですが、山の手では急ピッチで道路整備や住宅建築が進んでおります。時間はかかりますが、新しい高田が誕生しはじめております。

Club Data

4R2Z

陸前高田ライオンズクラブ

事務所：陸前高田市高田町字西和野98-4
TEL:0192-54-5505 FAX:0192-54-5504

会長 菅野 征一郎
幹事 佐々木 晃
会計 菅原 幸太

●会員数 71名
●結成日 1974.2.10
●チャーターナイト 1974.7.28

例会日 【第2水曜日】18:30~20:00
【第4水曜日】18:30~20:00

例会場 陸前高田市高田町字西和野98-4
陸前高田LC事務局



快晴に恵まれた6月8日(土)盛岡不來方LC CN50周年記念式典がホテルメトロポリタン盛岡ニューウイングで盛大に開催されました。奇しくもこの日は盛岡チャグチャグ馬コのパレード当日に当たり、会場となったホテル前の沿道を色鮮やかな装束で着飾った100頭近い馬っこがパレードし、50周年の記念すべき盛岡不來方LCの式典に花を添えていました。

半世紀を迎え新たな前進に向かって

“CN50周年記念式典・祝賀会を終えて”

報告：盛岡不來方LC 会長 L.吉田 浩次

2013年6月8日若葉薫る深緑の美しい佳き日に、盛岡不來方LC CN50周年記念式典が盛大に開催されました。

式典にあたり、ご来賓各位並びにライオン各位の皆様にご出席を賜りましたことは、私たちにとりましてはこの上もない喜びであり心から感謝と御礼を申し上げます。

当クラブは日本LCで500番目、332-B地区で5番目のクラブとして結成され、今日まで多くの皆様のご協力により節目の50周年を迎えることが出来ました。

折りしも世界のライオンズが100年の歴史を刻む時、我がクラブはちょうど半分の半世紀に達しました。諸先輩の築いてこられた良き伝統を受け継ぎライオンズクラブのモットーである

「ウィ・サーブ」を合言葉に地域に根ざしたアクティビティ活動を実践して参りました。

この度の記念事業におきましては、我が盛岡不來方LCの名前の由来、不來方城(現盛岡城跡公園)に隣接している盛岡歴史文化館に、盛岡の歴史ある地を大切にしていこうという思いから野外電波時計を寄贈しました。また日本における角膜移植とアイ・バンク発祥の地ともいえる岩手県の眼科医療全般を支持するための助成金を寄付する事業を行いました。

式典で心掛けたことは、この場を通して志を共にするライオンズの仲間がライオンズの自覚と認識をお互いに高められ、我々の奉仕活動が地域社会の共感に繋がればこれほど喜ばしい事はな

いという「気づき」の場にしたいとの想いでありました。この度の東日本大震災がもたらした数々の悲惨な出来事は、私たちに奉仕のあり方を改めて考える機会を与えてくれました。3.11は私たちにとって決して忘れられない、忘れてはならない日となりました。これからもまだまだいばらの道が続く被災地の復興に向けて、奉仕の情熱を持ち続けようと訴えたかったのであります。

翌日のエクスカージョンでは姉妹クラブである京都洛北LCご一行様と毛越寺、中尊寺の見学、狛鼻溪舟下りを楽しみ親睦を深めて参りました。

CN50周年記念式典が滞りなく終えられましたことは、皆様の御協力の賜物であり、クラブ員一同、厚く御礼申し上げます。

式典の部



▲会長L.吉田浩次のごあいさつ



▲ご来賓の岩手県知事のごあいさつ

懇親会の部



▲ゴスペル歌手高橋ちあきさん



▲岩手ビッグブルズ「ブルズダンサーズ」の皆さん



▲IBCアナウンサー風見好栄さんの司会



▲京都洛北クラブの会長さんです



▲最後に手をつないで「また会う日まで」…

第4回ZC会議並びにキャビネット会議報告

報告：広報委員長 L.久慈 勝範

6月4日(火)午後、奥州市水沢区内プラザイン水沢において第4回キャビネット会議が開催されました。当日は地区役員48名のライオンの他、オブザーバーのホストクラブ会長、次期役員そしてキャビネット事務局員のライオン総勢59名の会議となりました。

この会議では今年度千葉ガバナーの運営報告と次期キャビネットの引き継ぎに関する2議案が提出され、満場一致で可決されました。そして次期東山L.佐々木ガバナーエレクトへ引き継ぎされました。

会場での現役員ライオンの皆様はすっかり凱旋ムードで、余裕のある表情に見受けられましたが、オブザーバー出席の次期役員ライオンの皆様は、いよいよスタートする東山キャビネット構築に向けて緊張感のある表情に見受けられました。

懇親会は水沢キャビネット役員と各地から参集いただいた役員の皆様のこの一年のご労苦を



▲千葉ガバナー1年間ご苦労様でした!

ねぎらう場となり、とても楽しく和やかな雰囲気の間となりました。特に各ゾーンチェアパースンの皆様は、各地区ゾーン内のとりまとめや、被災沿岸地方への復興支援買い物ツアーの実施でたいへんご苦労されたと思いますので、そのお顔には皆様一様に

「安堵」の表情が読み取れました。

そしてこの一年影で支えていただいた事務局員のライオン、女性事務局の皆様もつかの間の笑顔が会場を満たしておりました。一年間有難うございました。そして次年度東山キャビネットを皆さんで応援していきましょう。



▲事務局の皆さん、1年間ありがとうございました。



▲小野寺キャビネット幹事と依田会計

May Activity

1R1Z		
盛岡	11日	盛岡LC旗争奪リトルリーグ大会
	19日	被災者支援事業 7LC合同ACT「花は咲くin盛岡」
盛岡不來方	18日	盛岡市にアウトドアクロックを寄贈
	19日	被災者支援事業 7LC合同ACT「花は咲くin盛岡」
盛岡中津川	19日	被災者支援事業 7LC合同ACT「花は咲くin盛岡」
	31日	国際地球デー 桜の植樹費用拠出
盛岡親武	2日	献血推進活動
盛岡南	19日	被災者支援事業 7LC合同ACT「花は咲くin盛岡」
	24日	エコキャップ寄付
滝沢	2日	ひかりの箱募金
	19日	被災者支援事業 7LC合同ACT「花は咲くin盛岡」
	24日	発展途上国にポリオワクチンを
玉山姫神	19日	被災者支援事業 7LC合同ACT「花は咲くin盛岡」
1R2Z		
岩手	13日	沼宮内高等学校教育振興会総会
	14日	岩手町国際交流協会総会
	26日	環境保全 植樹
	31日	丹藤川事前愛護少年団育成会総会
葛巻	29日	使用済み切手 3000枚送付
二戸	19日	国際地球デー 植樹
	30日	二戸市ユネスコ協会会費納入
西根	1日	ライオンの森の草刈り
安代	29日	国際地球デー 桜の植樹
2R1Z		
花巻		
紫波	1日	薬物乱用防止推進運動
	25日	ライオンズの森環境整備
石鳥谷	5日	こどもフェスティバル運営協力
	16日	献血推進活動
大迫早池峰		
花巻東		
東和猿ヶ石	19日	復興支援事業 交流ランドゴルフ大会
	28日	献血推進活動
矢巾	15日	矢幅駅に貸用傘設置
2R2Z		
北上	16日	障害者を「ラグビーフェスティバル」にご招待
	4月1日～30日	資源回収リサイクル活動
和賀	8日	資源回収
	1、10、29日	献血推進活動 4箇所
北上国見	16日	障害者を「ラグビーフェスティバル」にご招待
	7日	図書購入費贈呈
	6、21日	献血推進活動
江釣子	17日	老人ホーム「北星荘」慰問
	22日	黄金の郷づくりイチョウの木植樹
	7日	カーブミラー清掃
	12日	献血推進活動
江釣子	16日	障害者を「ラグビーフェスティバル」にご招待
	17日	図書カード寄贈
	18、28日	資源回収
3R1Z		
水沢	3日	水沢LC旗争奪区内中学校野球大会
	8日	水沢フラワーロード運営委員会総会
	30日	黒石小学校「レーキ」を寄贈
	31日	献血推進協議会総会
江刺岩手	4日	献血推進活動
	25日	江刺岩手LC杯奥州市江刺区中学校野球大会
前沢	19日	献血推進活動

水沢中央	8日	水沢フラワーロード運営委員会総会
	21日	水沢公園時計塔・藤棚付近の清掃
	23日	奥州市民憲章推進協議会水沢支部総会
金ヶ崎	11日	献血推進活動
	15日	金ヶ崎町国際交流協会総会
	24日	金ヶ崎町観光協会総会
	31日	使用済み切手 1630枚送付
胆沢岩手	31日	「コーラス白ゆり」支援
	7日	献血推進活動
3R2Z		
一関		
平泉	27日	平泉国際交流協会
花泉	22日	さくら園へ資源回収支援
一関中央	15日	使用済み切手 1000枚送付
	19日	月一努力奉仕活動
一関巖美深	26日	献血推進活動
	28日	LCIF\$1000献金、LCIF\$20献金
4R1Z		
千厩		
大東岩手	25日	東日本大震災復興支援 落語寄席
	30日	大東小学校へプランター寄贈
東山	7日	唐梅館公園内桜苗木植樹
	21日	献血推進活動
	25～26日	東山LC旗争奪中学校女子ソフトボール大会
藤沢岩手		
川崎岩手	3日	両磐地区選抜中学校野球大会支援
	10日	川崎小学校へ図書寄贈
	10日	一関市民憲章推進大会
室根	18日	ペコニアのプランター配布事業
4R2Z		
大船渡	15日	声の図書館整備協力
	20日	ひかりの箱募金
陸前高田	2日	大阪みはらLC被災地視察の案内
住田	14日	町内小中学校へスポーツ用品を提供
大船渡五葉		
5R1Z		
宮古岩手	6日	献血推進活動
	10日	宮古道路を守る会総会
久慈	15日	献血推進活動
	25日	三陸鉄道に支援金
田老		
陸中宮古	6日	献血推進活動
	16～30日	千羽鶴作成
田野畑		
岩泉龍泉洞	18日	岩泉龍泉洞L管理花壇の除草と花苗植え込み
5R2Z		
釜石	1日	LL奉仕活動
	15日	使用済み切手 200枚送付
遠野	12、22日	障害者施設支援リサイクル品の回収
	17日	使用済み切手 2000枚送付
釜石リアス	24日	使用済み切手 1000枚送付
大槌		
陸中山田		
ライオネスクラブ		
西根	1日	西根LC環境保全活動に豚汁提供
レオクラブ		
盛岡		
早池峰		
石鳥谷		
北上		
一関二高		
釜石		



▲胆沢ダム奥州湖の満々と水を温えた猿岩付近

雑感 「龍声」

地区ガバナー
L.千葉 龍二郎

ライオンズメンバーの皆様にご覧いただき「龍声」のコーナーも最終を迎えました。1年間のご愛読有難うございます。その時々自分勝手な文面に対し最後までお付き合いいただき感謝申し上げます。

さて、今回は永年私にとって社会的にまた企業経営者の一員として自分に言い聞かせながら守ってきた事を記してみます。

講演会やセミナーを多数受講したその中の一つの「三人の師」についてであります。

一人目の師は最も大事な「健康体」を管理していただく医師です。総合

病院もあると思いますが、身近な個人医院で親しく話の出来る「町のお医者さん」です。ちょっと風邪かなと思った時すぐに行ってすぐ診察してくれる先生が一人目の師です。

二人目の師は会社の健康を見ていただく税理会計事務所の先生です。会社の中・長期計画やら設備投資、資金管理まで常に相談できる師です。

三人目の師は弁護士の先生です。今コンプライアンス（法令順守）と言う事を最優先での仕事は社会で生き抜く為に取り組まなければならない事で、専門家の指導を仰がなくてはなりません。「お客様を守る為」「社員

を守る為」「地域を守る為」には弁護士さんのお力をお借りする事です。

そしてここ数年前よりもう一人の師、つまり四人目の師が社労士の先生であります。特に社労士さんには、会社を「守る」大事な役目をしていただいております。社員が安心して仕事が出来環境作りこそ今一番求められている事です。

これからも四人の師の方々のご助言を戴きながら社会の一員として又ライオンズクラブの一員として出来る事をしっかり対応して参ります。今後ともよろしくお願ひし、御礼と致します。

訃報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます



故 L.山回 泰明
享年69歳 (西根LC)
1995年10月入会 5月9日逝去



故 L.玉藤 剛嗣
享年99歳 (岩手LC)
1964年4月入会 5月12日逝去



故 L.鈴木 通夫
享年84歳 (遠野LC)
1991年10月入会 5月22日逝去

会員動向

5月 新入会員一覧

クラブ名	会員名(新入/再入/転入)
胆沢岩手LC	藤田 春芳
岩泉龍泉洞LC	澤里 邦子
	野澤 すの子
釜石LC	菊池 浩健

5月 LCIF1000ドル献金者

クラブ名	会員氏名	回数
一関厳美溪LC	佐々木 親弘	1

訂正のお詫び

先月発行のライオンいわて5月号、13ページ上部の4月22日国際地球デー写真一覧に、盛岡中津川LCと標記してある写真が二枚ありますが、その内の右側の写真は滝沢LCの間違いです。謹んでお詫び申し上げます。

アクティビティ Photo グラフ



編集後記

ライオンいわても今月号をもちまして、いよいよ最終号の発行となりました。思えば一年前、大変な仕事を受けたものだやや憂鬱な気分になっておりましたが、キャビネット役員の皆様をはじめ多くの方々のご支援を戴きながら毎月毎月ざりざりの状態で発行して参りました。ライオンズクラブのACT報告という意味合いの機関誌として、どうあるべきか? 毎月毎月自問自答しながら走って参りました。

「まずは読んでみたくなる、次に為になる。」という目標を掲げ編集に取り組んだつもりですが、如何だったでしょうか? ともすると単調になりがちな周年行事や会議報告を如何に面白くお伝えするか、苦心いたしました。時にはミスプリントを犯してしまい皆様に不快な思いをさせしまいました。本当に申し訳ありませんでした。

この一年間の本誌編集にご協力にいただきました会員の皆様、そして平澤副委員長はじめ広報委員の皆様に感謝申し上げます。

広報委員長 L.久慈勝範

表紙の説明：胆沢ダム

奥州市胆沢区若柳地区に建設されたロックフィルダム。貯水の為に現れた人工湖を奥州湖と命名しました。堤高132m堤長さ723m(全国1位)堤体積(全国2位)の全国屈指の巨大ダムです。周辺には真新しいトンネルや橋梁が整備され、美しい自然環境と相まって、近い将来一大観光地になる可能性があります。この豊富な水源は、毎年水不足に悩む下流の胆沢平野の田畑を潤すこととなります。

ライオンズクラブ国際協会332-B地区 キャビネット事務局

広報委員会

発行 2013年6月25日

発行人: L.千葉龍二郎

広報委員長: L.久慈勝範

副委員長: L.平澤真樹

広報委員: L.岩淵正義、L.高橋晋、L.高橋テルミ

L.千田郁夫、L.佐々木利幸

デザイン: 有限会社 アドスタッフ

印刷: 株式会社 正和印刷所

編集事務局: 〒023-0818 奥州市水沢区東町4番地

ダイコー 壱番館水沢商工会館ビル3F

TEL(0197)23-6516 FAX(0197)23-3176